

奥畑を歩こう ～奥畑周遊ルート～

①奥畑分校跡（集会所）

明治6年(1873年)に進歩館として発足。昭和22年(1947年)に伴小学校奥畑分校となり、昭和47年(1972年)の閉校以後は奥畑地区の集会所として、地域の集会の他「自然体験学習教室」等としても広く利用されています。現在では、集会所の裏側にホテルの養殖施設としてホテルハウスが設置されています。



●アジサイ

②おくはたホテル公園

平成5年(1993年)3月に完成した面積1,150㎡の公園です。広島市が造成し、地元有志の「ホテルの里おくはた」が委託を受けて管理しています。樹木の植栽等には地域住民が参加し、また地域の有志によるゲンジボタルの幼虫の放流が行われています。



●彦四郎の涙石跡（寄り道コース）

③泉水岩（せんすいいわ）

慶長年間、瀬戸(奥畑の下流の集落)にあった長福寺が長州へ移る際、和尚さんが愛玩していた庭石を持っていこうと思い、力の強い人を集めたがあまりに重く、横か尾の一の谷(伴南付近)まで運び、田んぼの中に置き捨てられたと言われていました。



現在は民家の庭に置かれています。

④八面神社（やつおもてじんじゃ）

昔は水神・八大龍王を祭っていたようです。現在は五男三女の神を祭っています。御神像は高さ50cm弱で、1身8頭を4面、2段重ねに赤黄青で彩色し、胸の辺りには桃の実と法具の三結(さんご)が描かれています。



●幟城跡

●奥畑説教場社

⑤子安観音（こやすかんのん）

昔、この一帯には、キツネがたくさんすんでいました。ある年、里人がすみかに道を付けました。すると、この辺りを通ると荷物が無くなり、同じ道を行ったり来たりすることが度々起きました。そこで、キツネの霊を慰める石塔を建てました。キツネは子だくさんであることから、「子安観音」と呼ばれています。



⑥比翼塚（ひよくづか）

昔、この辺りに住んでいた茂平とお新という、若い夫婦のきずなと七夕の日の悲しみの物語が伝わっています。この石碑は、その供養のために建てられたもので、「七夕さん」と呼んで手を合わせ、この付近の川を「天の川」と言いました。2つあった石塚の1つは、今は見当たりません。



●溪流

⑦サクラの絶景ポイント

奥畑に咲き誇るサクラを、一望のもとに見渡すことのできるポイントです。棚田の石垣や集落、山々も美しい風景を引き立てています。



○奥畑分校跡

<寄り道コースなど>

- 彦四郎の涙石跡
- 幟城跡（現在はヤブ状態で入れませんが、遠くから山城跡を見てください）
- 棚田、サクラの眺望

主な参考文献

- 沼田町史
- 郷土史 藤広繁吾さんの記録集（沼田歴史散歩の会）
- 沼田の歴史散歩（沼田歴史散歩の会）
- 奥畑散策マップ（奥畑を愛する会/広島市沼田公民館）
- そのほか、社寺の現地解説文など



まちめぐり憩いの空間づくり事業について

安佐南区では、区の魅力を高める「魅力づくり事業」の一つとして、「まちめぐり憩いの空間づくり事業」（平成13年度～平成20年度）を実施し、区民の皆さんと一緒に自然、歴史、まちなみ、施設、住民活動、祭りなど、地域の特徴ある資源を生かしたポイント（空間）や、これらをつなぐルートづくりを行い、平成20年度までに全18ルートが完成しました。このマップは、平成18年度に開催された「まちめぐり憩いの空間ルート研究会」において、伴・奥畑地区に在住の方を含む区民メンバーが調査・検討した結果をまとめたものです。



■アストラムライン大原駅から奥畑へは第一タクシーの路線バス「奥畑線」をご利用ください。 ※運行時刻、所要時間、経由地などは、運行会社にご確認ください。

あさみなみ散策マップ ～伴ルート/奥畑ルート～

発行：広島市安佐南区役所 地域起こし推進課 TEL:082-831-4926
制作協力：まちめぐり憩いの空間ルート研究会
発行年月：平成19年（2007年）3月
平成23年（2011年）2月 改訂
平成26年（2014年）3月 改訂

伴ルート・奥畑ルートとその周辺について

● 伴の今昔 ●

伴は平安時代には「土茂郷」といい、安芸国佐伯郡十二郷の一つでした。「伴」の名が出てくるのは鎌倉時代といわれ、伴村は江戸時代の村名で、慶長年間には長楽寺が分村しています。明治22年(1889年)に伴村と大塚村が合併し、伴村大字伴となり、昭和30年(1955年)に戸山村と合併し沼田町となり、昭和46年(1971年)に広島市に編入、昭和55年(1980年)の政令指定都市移行を受けて、現在の安佐南区の一部となりました。伴が大きく変ぼうを始めたのは、昭和40年代からの団地開発で、とりわけ平成6年(1994年)のアジア競技大会を契機としてアストラムラインが整備されるなど、都市空間へと風景も一変しました。



昭和24年(1949年)の伴周辺



平成6年(1994年)の伴周辺

● 奥畑の今昔 ●

奥畑は、奥畑川沿いに細長く伸びる谷間の集落で、伴の奥座敷と呼ばれます。中世から、林業を中心に発展した地域です。安川の源流域に当たり、清流と緑の豊かな自然が息づいています。眺望絶景の窓ヶ山は遊歩道などが整備され、憩いの森となっています。一方、外環状線が地域を高架上で横切るなど、奥畑も西風新都の一面であることを感じます。自然や歴史、文化、農業を通じて新しいまち西風新都を彩る役割が期待されています。



正しい歩き方

せっかくまっくら、正しく歩いて「健康ウォーキング」にしませんか？

胸を張り、背筋を伸ばし、肩の力を抜いてリラックス

つま先で蹴る

ウォーキングは・・・
肥満・高血圧等の生活習慣病を予防・改善するだけでなく、脳の活性化により、認知症や老化の予防、筋力アップによる転倒予防にも効果的です！

あごを引き、視線はまっすぐやや遠くを見る

呼吸は自分のリズムで・・・

肘(ひじ)をやや曲げ腕を大きく振る

おなかを引き締める

膝(ひざ)を伸ばして大きく前へ

かかとから着地

元氣じゃけんひろしま21
～安佐南区では、「健康ウォーキング」を推進しています！～

この印刷物は再生紙を使用しています

伴を歩こう ～伴周遊ルート～

○アストラムライン 大原駅

- 約0.5km ●胡子神社
- うんがんじみちの石坂

①雲岸寺（うんがんじ）（雲願寺）

このお寺は元禅宗、あるいは真言宗であったといわれています。開基は明らかではありませんが、お堂に残る阿彌陀如来像や付近に残る五輪塔群などの形式から推察して少なくとも室町期以前と思われる。ご本尊阿彌陀如来座像は昭和56年(1981年)に県の重要文化財に指定されています。現在のお堂や鐘楼は平成4年(1992年)のアストラムライン工事により移転し、新しく建てられました。 ※注) 管理上、入り口に鍵がかかっている事があります。



②みちしるべ（久地分かれ）

安川に沿って伸びる県道から、久地に分かれる分岐点に置かれた道標で、「右は安よりか部左は久地より…」とあります。伴が交通の要衝であったことを伝える遺産でもあります。



③岡崎神社

伴の三城田にあり、祭神は品陀和気命、市寸島比売命など多くの神々を合祀(ごうじ)しています。元は伴村の村社でしたが、現在は伴地区の氏神様として祭られています。勧請年月や由緒等については不詳ですが、伝説によれば安芸の国の旧領主、伴五郎繁清の先祖が勧請したと伝えられています。



●石灯ろう

④雨降らしの石

この五輪墓は中世武士の墓ですが、五輪石は手頃な大きさであり、子供たちが粗末に扱っていたため、戒めの言葉として「ええか、あの石にさわると雨に降るぞ」となったことが由来とされています。



●伴村役場跡

⑤専念寺（せんねんじ）

専念寺は浄土真宗本願寺派に属し、龍池山と号します。元は天台宗でしたが、慶長8年(1603年)に真宗に改宗しました。由来についてはいろいろな伝説が残っていますが、二度の火災により古文書が焼失したため定かではありません。安置されている奇木造り阿彌陀如来半伽藍像は高さ33cmの小柄な仏像ですが、昭和50年(1975年)に広島市の重要文化財に指定されています。(元旦のみ拝観できます。)



●奥畑川と安川の合流点

⑥伴城跡

伴城跡は、宅地造成工事によって城跡は完全に消滅し、現在は商業施設などとなっています。伴城とその東(伴東城)及び北(伴北城)の合わせて三つの城があったことが、三城田の地名の起こりと伝えられています。



造成直前の伴城跡(1990年ごろ)

●伴東城跡

○アストラムライン 大原駅

<寄り道コース>

- 乳神様 ●菅原神社 ●諏訪神社 ●黄幡神社 ●金比羅神社 ●長福寺跡
- 養峠道と地蔵
- <枝道コース>
- アストラムライン伴駅～長楽寺駅コース（裏面記載）

など

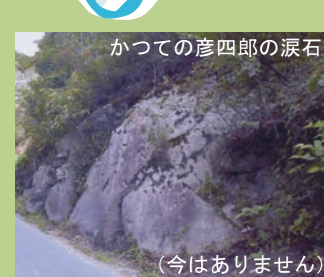


彼岸花の群生
秋には奥畑を彩ります

窓ヶ山・憩いの森には、平和記念式典で献水されている水をくむ場所があります。

窓ヶ山・憩いの森
(約2.5 km)

戸山・湯来方面
彦四郎の涙石跡



かつての彦四郎の涙石
(今はありません)

奥畑とホタルの里づくり

奥畑川は平成元年4月に環境省から「ふるさといきもの里」の認定を受け、奥畑地区全世帯による「ホタルの里おくはた」を結成して、地域子ども達とともにホタルの餌となるカワニナの放流やホタルの観察・ホタル祭りなど、ホタルの保護と奥畑川の保全に努め、毎年多くの人々が奥畑川のホタルを観賞しましたが、平成11年6月29日の水害で奥畑川は壊滅的な被害を受けました。その後流路は整備されましたが、カワニナの餌となる藻類の復元にはいたらず、今ゲンジボタルが飛ぶのは「ホタル公園」とその周辺のみとなりました。

奥畑ルート

奥畑では、おいしい米やブドウがとられています。

伴ルート

伴や大塚は、広島での小松菜の栽培のさががけです。



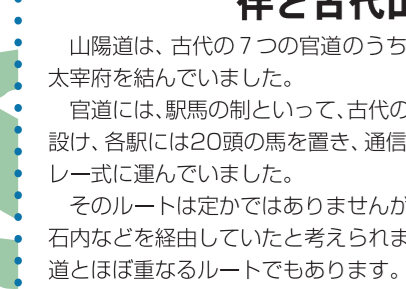
山根川原橋付近の溪流



岡山神社の石灯ろう



長福寺跡の五輪塔群



伴中央駅前権現峠ルート案内板

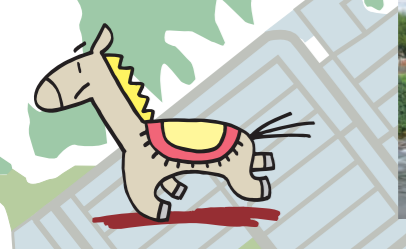


秋祭りには三城田神楽団などの神楽が奉納されます。

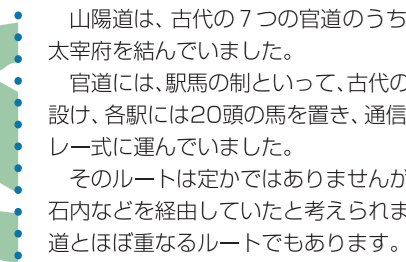
奥畑方面
(比翼塚まで約1.3 km)



水辺沿いの緑道



養峠道の地蔵



古代山陽道の面影 養峠道



権現峠ルート案内板

伴と古代山陽道

山陽道は、古代の7つの官道のうち唯一の「大路」で、都と九州・太宰府を結んでいました。官道には、駅馬の制といって、古代の三十里(約16km)ごとに駅を設け、各駅には20頭の馬を置き、通信・連絡や官人を次の駅までリレー式に運んでいました。そのルートは定かではありませんが、古代山陽道は安古市、伴、石内などを經由していたと考えられます。それは現在の山陽自動車道とほぼ重なるルートでもあります。

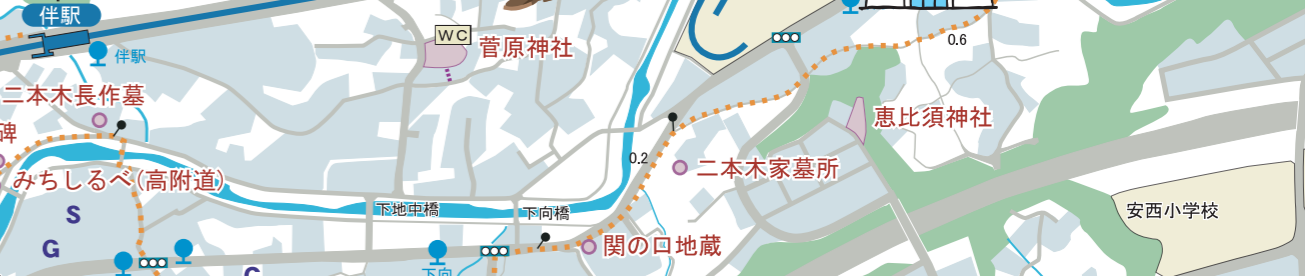
※(1)資源・文化財名で示したものは裏面に解説があります。

0 50 100 300m

アストラムライン伴駅
伴先生塚～天皇社～伴家屋敷～みちしるべ(高附道)～二本木長作墓～稲荷神社～国重城跡～関の口地蔵～二本木家墓所 観音堂

アストラムライン伴駅～長楽寺駅コース
アストラムライン長楽寺駅
関の口地蔵～二本木家墓所 観音堂

みちしるべ(高附道)



0 50 100 300m

記号の説明

- まちめぐりルート
- 区間の距離 単位: km
- 横断注意
- 信号交差点
- 歩行注意
- 階段
- 寄り道・枝道コース ショートカットコース
- 公園
- 緑道
- 河川・水路
- 神社・寺院、碑 其他由来のもの
- 特徴ある風景・街並み
- 眺望場所
- バス停留所
- コンビニエンスストア
- スーパー・ショッピングセンター
- ガソリンスタンド
- 郵便局
- 交番
- トイレ

※(1)資源・文化財名で示したものは裏面に解説があります。